

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年9月27日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873400378		
法人名	有限会社 凜成		
事業所名	グループホーム ひだまりの家	ユニット名	1階（1号館）
所在地	〒313-0106 茨城県常陸太田市下利員町1086番地の1		
自己評価作成日	平成23年1月26日	評価結果 市町村受理日	平成23年9月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年5月12日	評価確定日	平成23年9月1日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>「ゆったり家族のように暮らせるグループ」の実現に向けて入居者一人ひとりを真心込めて支援している。</p> <p>職員は常に入居者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないような言葉かけや対応に注意している。</p> <p>入居者ができる事はなるべく自分でやっていただき、手伝い等、体を動かすことにより、その人の残存能力を活かすしていただくよう支援しています。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>職員同士が連携し助け合いながらチームワーク良く利用者を支援し、利用者とのコミュニケーションを図りながらゆったりとした生活ができるように支援をしている。</p> <p>利用者一人ひとりの自由を尊重するとともに全職員が利用者を理解し、できる限りその人の希望にそった生活ができるように支援をしている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を毎朝の朝礼の時に、その日のスタッフ全員で読んでから、仕事に入るようにしています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作成し、管理者と職員は朝礼時に唱和して共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の夏祭りや運動会などに参加しています。	職員は利用者が地域の運動会や祭りに参加できるように支援をしている。 事業所の運動会や行事に地域の人々を招待したり、歌やフラダンス等のボランティアを受け入れるなど、職員は利用者が地域の人々と交流ができるように支援をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	推進会議で認知症の症状や状態を説明し、地域の方に理解を求めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議で指摘された事を話し合い、見直して、サービス向上に活かしています。	運営推進会議は市職員の参加を得て2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所の現状や利用者の生活状況を報告するとともに、課題や時の話題を議題として意見交換をしている。 会議で出た意見等は職員会議で話し合い、共有を図るとともにサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	推進会議に出席してもらい、ホームの実情を話し合い、協力関係を築くように取り組んでいます。	運営推進会議で市担当者から情報を得たり、生活保護受給利用者に関する連絡や手続きなどで協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフの人数の少ない時など、家族によく説明して、抑制帯やドアの施錠をしている時間帯もあります。スタッフの人数の多い時など、抑制帯やドアの施錠を、できるだけ控えています。	管理者や職員は身体拘束の弊害を理解しているが、やむを得ない場合に限り、家族等の同意を得て抑制帯などの身体拘束を行い随時家族等へ経過を報告している。 玄関は各ユニットの利用者の状態に応じて施錠したり解錠したりしている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的にスタッフミーティングを行い、虐待について話し合い、防止に取り組んでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修などにより、勉強会を行う予定。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	不満点、疑問点を訪ね、納得されるまで十分な説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しています。	玄関に意見箱を設置するとともに、職員は家族等の来訪時に話を聴くよう努め、出た意見や要望を運営に反映させている。 家族等からの意見や要望が出易くなるよう事業所便りを送付し利用者の日頃の様子を報告するとともに、苦情や要望を出し難い家族等に配慮して、家族アンケートを実施し意見等を汲みあげるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的にスタッフミーティングを行い、意見を出してもらい、話し合っています。	管理者は申し送り時や月1回のスタッフミーティングで職員の意見や提案を聞くよう努めるとともに、出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めているつもりです。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を受ける機会をもっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	研修などで同業者と情報交換をして、サービス向上につなげています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の話をよく聞いて、できるだけ本人の希望にそった生活が、できるように支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の話をよく聞いて、できるだけ家族と本人の要望にそった生活ができるよう支援しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の方やスタッフで話し合い、その人に合ったサービスが何か見極め、支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	手伝ってもらえる事は、なるべく手伝ってもらうようにしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人に、何か変わりがあれば連絡したり、行事がある時などに連絡して、参加してもらっています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事などに参加しています。	職員は利用者の家族等や友人が気軽に来訪できるよう働きかけたり、利用者が馴染みのスーパーで買い物ができるように支援するなど、利用者の馴染みの人や場所との関係が継続できるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが間に入り孤立しないよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、家族や利用者から希望があれば、相談や支援に努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人と話して、相談しながらできるだけ、本人の意向にそえるよう支援しています。	利用開始時に利用者や家族等から希望や要望を聴いている。 職員は日常の生活の中で利用者の表情や行動から意向の把握に努めている。 意向の把握が困難な場合は、利用者のこれまでの生活歴や行動から思いを推し測り、利用者本位に検討している。			
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族の話をよく聞いて、できるだけ家族と本人の要望にそった生活ができるよう支援しています。	/		/	
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり状態を把握して、できるだけその人に合った一日を過ごせるよう支援しています。				
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の話をよく聞いて、スタッフ間で話し合い、その人に合ったケアプランを作成しています。				

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアを個別記録に記入し、情報を共有し、実践や介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	デイサービスの宿泊や病院の送迎を、自主的に行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方々に参加していただき共に楽しんでいます。病院は近隣を利用しかかりつけにしています。近隣の季節を感じられる場所へ散歩やドライブにでかけ楽しめるようにしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族や本人と話し合い、希望があれば希望の病院に受信するようにしています。	契約時に利用者や家族等の意向を確認し、希望するかかりつけ医への受診を支援している。 協力医療機関とも連携を図り、適切な医療が受診できるように支援をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設や、かかりつけ病院の看護師と話し合い、適切な受診や看護を受けられるよう支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した場合、家族や病院と密に連絡を取り、情報交換を行っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時や担当者会議の場で、重度化した場合のあり方を十分話し合い、方針を共有しています。</p>	<p>重度化した場合や看取りの対応指針を作成するとともに、書面で利用者や家族等の同意を得ているが、職員や関係者で方針を共有するまでには至っていない。</p>	<p>終末期ケアに向けて事業所でできることとできないことを明確にし、職員や関係者で方針の共有が図れる体制づくりに取り組むことを期待する。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>AEDの講習会や、消防訓練で救命処置などの訓練を受けています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>非難訓練や通報訓練を定期的に行っています。</p>	<p>消防署立会のもと避難訓練を実施しているが、様々な災害や夜間を想定した避難訓練を実施するまでには至っていない。 防災訓練に近隣住民の参加を得たり、災害時に備え食糧や飲料水、備品等を備蓄するまでには至っていない。</p>	<p>運営推進会議などで近隣住民に防災訓練への参加を呼びかけ、協力体制を築くとともに様々な災害や夜間を想定した避難訓練を実施することを期待する。 災害時に備え食糧や飲料水、備品等を備蓄することを期待する。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	基本的に敬語で話すよう心がけています。	職員は利用者の誇りを傷つけないような言葉かけや対応を心がけるとともに、利用者一人ひとりの思いを尊重した支援に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の様子やしぐさを、よく観察し自己決定できるよう、支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望を聞きながら、状況に応じてその都度、一人ひとりのペースで対応するように心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みを把握し、できる方には、野菜の皮むきや、食事後の食器拭きを手伝ってもらっています。	利用者はできる範囲で食事の準備や後片付けなどを職員と一緒にしている。 職員は利用者と一緒に食卓を囲み、声かけや介助をしながら楽しい雰囲気の中で食事ができるように配慮をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量が少ない方には、補助食品などを摂取してもらい、一人ひとりの水分量を把握し、少ない方には、好みの物などを摂取していただいています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけをして、自分でできない方には、スタッフが施行しています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、時間で声かけをし、トイレでの排泄ができるよう支援しています。	職員は利用者の排泄パターンを把握するとともに利用者の様子からサインを察知し、言葉かけや誘導を行い、トイレで排泄ができるように支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品を毎日摂取してもらい、排泄チェック表を作り、便秘している方には、下剤や浣腸を施行し、体操や歩行訓練を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	スタッフの人数などの関係で、入浴時間は大体決まっています。	週2回から3回午前でも午後でも入浴ができるように支援をしている。 入浴を拒む利用者や体調が悪い利用者には、清拭や足浴で対応をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝がしたい方には、昼寝していただくいたり、エアコンた湯たんぽなどを使用してもらい、安眠できるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入所時や服薬変更時などに、連絡帳で申し送っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	誕生会や季節行事や散歩などを、行っています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	スタッフの人数が多い時などに、外出や買い物に行けるよう、支援しています。	天気の良い日は事業所周辺の散歩や外でのお茶飲み、近隣公園へのドライブなど、職員は利用者が季節を感じたり気分転換ができるように支援をしている。 利用者全員揃っての外出は難しいが、買い物や花見、地域の祭り、運動会など、できるだけ多く外出ができるよう機会を設けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は、事務所で預かって、立て替え払いにし、後で家族に請求しています。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば、電話や手紙で、連絡をとってもらっています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	手作りのカレンダーや写真や利用者の作品などを飾り、工夫しています。	居間兼食堂に畳敷きの一角を設け、利用者がゆっくり寛げるように配慮をしている。 廊下には手作りの椅子などを設置し、利用者が思い思いの場所で居心地よく過ごせるよう工夫をしている。 畑は利用者と職員が作業や収穫などを共にする場になっており、五感を刺激したり季節の移り変わりを感じる場所となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関や廊下に椅子が置いてあり、思い思いに過ごせるように工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた物を、できるだけ持ってきていただき、暮らしやすい居室作りをしています。	利用者はテーブルやタンス、テレビ、炬燵など使い慣れた物品や好みの物を持ち込み、居心地よく暮らせるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレや浴室には手すりがあり、居室のドアの色は、すべて違う色にしてあり、できるだけ自立した生活ができるよう工夫しています。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input checked="" type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームひだまりの家

作成日 平成23年9月14日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期ケアに向けて事業所でできることとできないことを明確にし、職員や関係者で方針の共有が図れる体制づくりに取り組むことを期待する。	終末期ケアに向けて事業所でできることとできないことを明確にし、職員や関係者で方針の共有が図れる体制づくりに取り組む	看取りに関するミーティングを年に数回行い方針を具体的に図る	6ヶ月
2	35	運営推進会議などで近隣住民に防災訓練への参加を呼びかけ、協力体制を築くとともに様々な災害や夜間を想定した避難訓練を実施することを期待する。災害時に備え食料や飲料水、備品等を備蓄することを期待する。	運営推進会議などで近隣住民に防災訓練への参加を呼びかけ、協力体制を築くとともに様々な災害や夜間を想定した避難訓練を実施する。災害時に備え食料や飲料水、備品等を備蓄する。	様々な災害や夜間を想定した防災訓練を地域の方々と共に実施する。地域の防災組織に加入予定。備蓄に関しては実行予定している。	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。